

自然エネルギーを体感・学習しました

大阪市主催の「ECO 縁日 2021」が10月30日（土）に「市民が ECO と縁を結ぶ一日」をメインテーマとし花博記念公園鶴見緑地で開催されました。

PARE はソーラーカー工作や手回し発電など自然エネルギーを体感するブース出展をしました。

ビューッと走る「ソーラーレーサーカー工作」

今回の工作は新作で、牛乳パックを使った「ソーラーレーサーカー」です。工作には3組の親子が参加しました。牛乳パック紙でソーラーカーの車体を作り、完成した車体に太陽電池を載せます。子どもには、牛乳パックをきれいに折ることと完成した車体に太陽電池をバランスよく載せるのが少し難しかったです。

子どもたちは頑張って作った「ソーラーレーサーカー」が太陽光の下でうまく走ると「やったー!走った!」とうれしそうでした。



太陽エネルギーと競争「電車模型Nゲージ」

電車模型Nゲージで太陽光発電と手回し発電で電車の競争体験をしました。ECO 縁日当日の天候は快晴で電車模型が順調に速く走り回ります。手回し発電で太陽光発電に「勝つ」のはとても大変でした。

雲や子どもたちの影で少しでも太陽光パネルに光が当たらなくなると電車の動きが途端に鈍くなります。太陽光発電の弱点の1つに影になると電気が作られず電車が止まることを説明すると子どもたちは自身の体で影を作り電車を操作しているのも印象的でした。



うちわで風を起こし「風力発電」

うちわで風車発電体験です。最初はやさしくうちわを扇いでいる子どもたちも、風車の下のLED電球がつかないことがわかると、力いっぱい扇ぐようになりました。LED電球がつくと、子どもたちはとてもうれしそうでした。



「ソーラーレーサーカー」工作や発電体験を通じて、子どもたちには電気をつくる楽しさや大変さ、難しさを分かってもらえたのではと思います。

(ボランティア 中川 正進)